

地域がん診療連携拠点病院・地域医療支援病院

<川崎市立井田病院からのお知らせ>

い だ や ま

# 第82号 井田山

基本理念「井田病院は、自治体病院として、市民から信頼され、

市民が安心してかけられる病院づくりを目指します。」



当院ホームページ・X(旧Twitter)をご覧ください♪



## 新任副院長 あいさつ



副院長 上田 誠司

2024年4月より井田病院副院長を拝命いたしました。川崎市立川崎病院からの異動ということで、あまりギャップも無いかと思っていましたが、やはり別の病院ですから、慣れるまで少々時間を要しそうです。病院が新しくきれいで、井田山の頂きという立地のため、大変気持ちの良いところです。窓の外には、今まさに満開の桜が見えますし、富士山、横浜や武蔵小杉のビル群なども一望できます。素晴らしい環境です。

慶応大学を卒業後、1年間麻酔科で研修し、平成元年から整形外科教室に入局しました。浦和市立病院、月ヶ瀬リハビリテーションセンター、東京電力病院、平塚市民病院、済生会宇都宮病院、済生会横浜市南部病院など様々な病院勤務を経験したのちに、2017年4月から2024年3月まで川崎市立川崎病院で勤務しました。2023年度に川崎病院で還暦を迎え、2024年4月に同年齢の看護部や事務局の方々が新しい職に羽ばたいていかれるのを横目に見ながら、私も井田に参りました。

整形外科では脊椎を専門にしております。近年の麻酔の進歩や手術の低侵襲化は顕著であり、以前は考えられなかったような年齢の方に対しても、大きな手術を行えるようになりました。しかし、まずは手術ではない保存療法を行い、それでも改善が乏しい場合に手術を検討する。手術法の選択においては、患者さんの体への負担がなるべく少ない低侵襲手術を心がけたいと思っています。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

# ◆新任医師紹介

放射線治療科 部長 うちだ のぶえ 内田 伸恵

はじめまして。東京都済生会中央病院より川崎市立井田病院に赴任しました、放射線治療科の内田と申します。患者様の状態に最適な放射線治療をご提供したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

外科 医長 たけむら ゆうすけ 竹村 裕介

令和6年4月より消化器外科に赴任した竹村裕介です。患者さんの立場にたって、消化器外科専門医としてこれまで培った経験や技術を活かし、地域の皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

消化器内科 副医長 やまらか ゆい 山近 由衣

令和6年4月より井田病院消化器内科に赴任いたしました、山近と申します。地域の皆様にお役に立てる様に精進してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

糖尿病内科 副医長 さとう まお 佐藤 真央

令和6年4月より糖尿病内科に赴任しました、佐藤真央と申します。糖尿病や広く一般内科領域で地域医療に貢献できればと存じます。どうぞよろしくお願い致します。

婦人科 担当部長 あきば やすお 秋葉 靖雄

令和6年度より川崎市立井田病へ赴任して参りました、婦人科の秋葉靖雄(あきばやすお)と申します。皆様、よろしくお願いいたします。私は1996年度より、川崎市・横浜市東部で産婦人科診療に従事し、主に腹腔鏡手術を中心に、婦人科疾患に向き合ってきました。今後もこの地域の先生方と連携して診療を続けさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

消化器内科 副医長 しまだ ふみえ 島田 史恵

令和元年川崎市立井田病院で勤務し、この度5年ぶりに勤務させていただきます。患者さんにとって安心安全で、負担が少ない検査・治療を心掛けて参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

腎臓内科 副医長 くわの ゆうたろう 桑野 柚太郎

令和6年4月より腎臓内科医師として採用されました桑野柚太郎です。井田病院には令和2年より専攻医として勤務し始め、1年外部病院を挟み、4年目の開始となりました。引き続き腎臓内科、コロナチームとして勤務していきますのでよろしくお願いいたします。

緩和ケア内科 副医長 すぎ まなえ 杉 真恵

無事救急科専門医を取得し、今年度から緩和ケア内科副医長を務めることとなりました。在宅医療を含めた緩和ケア、災害医療等で尽力できればと思っております。よろしくお願いいたします。

井田病院DMATは、神奈川県からの要請を受け、令和6年1月11日から19日の期間、珠洲市総合病院に医師1名、看護師3名、業務調整員1名の計5名を派遣しました。

珠洲市総合病院では、電気は復旧していましたが、断水のまま、給水車による補給が続けられていました。DMATはその状況を少しでも改善し、病院の機能維持が可能になるように支援活動を行いました。

医師看護師は夜勤も含めた救急業務（平均45名/日）、病棟業務などを担当し、病院職員の業務負担低減を行いました。業務調整員は病院支援本部の本部活動に従事し、主に患者搬送（平均10名/日）の調整と物資調達を行いました。

とても厳しい状況でしたが、僅かでも地域貢献が行えたのではないかと考えます。

今後も、機会があれば支援活動に参加したいと思います。

文責：井田病院DMAT



## 能登半島地震に伴う被災地派遣



看護部は、全国自治体病院協議会からの看護師派遣依頼を受け、令和6年2月から3月にかけて合計6名の看護師を輪島市立輪島病院に派遣しました。

派遣先では、入院患者対応、発熱外来、救急外来等の業務を行い、現地の状況を把握しながら支援することができました。また、現地の職員も被災者であるため、その方たちの話を聴いてあげることによって癒しを与えることもできたと思います。

文責：看護部

庶務課の事務職員2名は、指定都市市長会からの事務職員派遣依頼に基づき、令和6年2月に輪島市立東陽中学校にて避難所運営支援を5日間の日程で行いました。

主に自衛隊や輪島市等から搬入される支援物資の受入れ・保管・分配業務、避難所の夜間受付業務、罹（被）災証明書申請・交付窓口業務を行いました。派遣された時点では水道等が完全には復旧しておらず、仮設住宅の建設は進んでいるものの、避難者の生活は未だ困難な状況でした。

文責：庶務課



## のらぼう菜の提供

食養科では3月14日（木）に令和5年度4回目となる市内産野菜の提供を行いました。今回は川崎の春を代表する野菜「のらぼう菜」をおひたして提供しました。今回は提供する1週間前には降雪も見られ生育状況を気にかけていましたが、立派でおいしいのらぼう菜を提供できました。



同時に行ったアンケートでは「菜の花に似ていますが苦みやクセもなく、甘くてやわらかくおいしかった。」「ほうれん草より食べやすくおいしかった。」「ほうれん草のほうがおいしいと思う。」「南加瀬でも作っています。」など40以上のご意見をいただきました。

今年度も引き続き市内産農作物の提供を予定しています。

文責：食養科 亀山

## モニュメントの設置

全国都市緑化かわさきフェアの一環として、市バスのバス停奥に球体のモニュメント（オベリスク）を2基設置しました。球体の脇には、それぞれ3鉢ずつのモッコウバラを植えています。このモッコウバラが、球体の柱に沿って伸びる予定です。

モッコウバラの開花時期は5月から6月だそうなので、ぜひご鑑賞いただければと思います。あわせて、水やりをしていただける方を募集します。

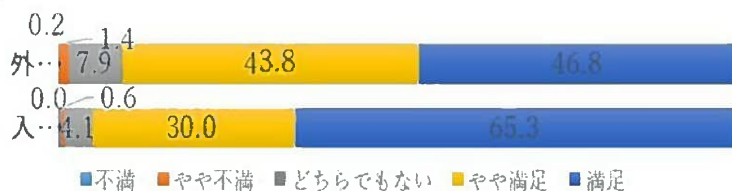
文責：管理係



## 患者満足度調査の結果

令和5年10月から11月にかけて、アンケート方式による患者満足度調査を実施しました。

「当院について総合的にどう思われますか」という設問に対しては、外来診療については90.5%、入院診療については95.3%の方が当院の医療について「満足」又は「やや満足」とお答えいただき、概ね高い割合で満足を頂くことができました。



一方、外来の待ち時間の改善が求められておりますので、引き続き、患者サービス向上とより良い病院づくりに役立ててまいります。

文責：庶務課



発行責任者 田中 良典  
川崎市中原区井田2-27-1

編集 川崎市立井田病院 ホームページ・広報委員会  
電話 044-766-2188 (代表)